

令和2年度の決算を報告します

9月に開催された市議会において、令和2年度の一般会計と特別会計(7会計)、水道事業会計、下水道事業会計合わせて10会計の決算が承認されました。今回は、その内容についてお知らせします。

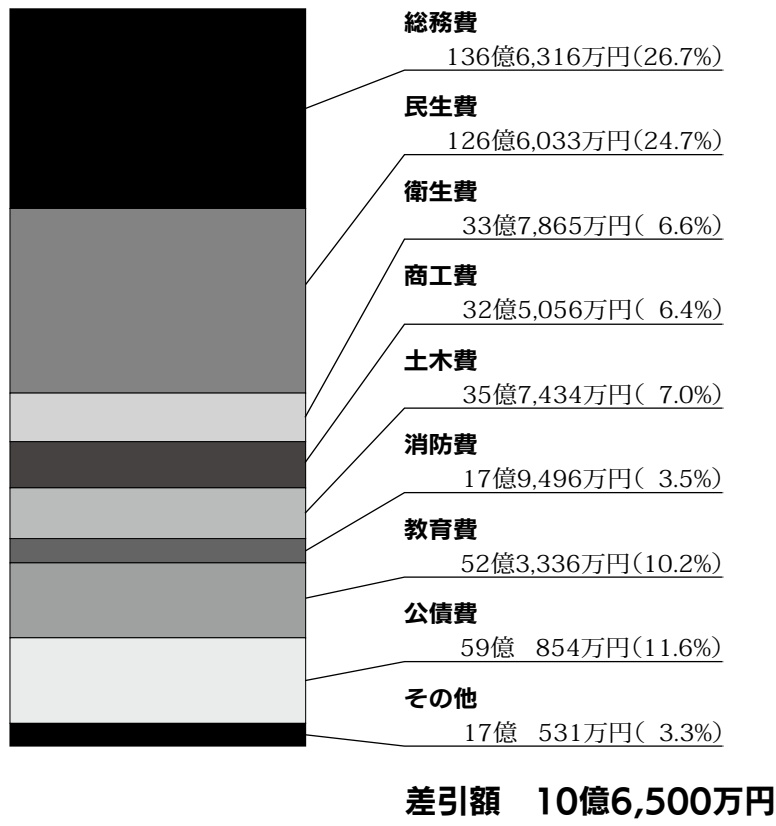
●一般会計

令和2年度の一般会計の決算額は、歳入が522億3,421万円(対前年度比23・1%増)、歳出が511億6,921万円(対前年度比22・7%増)でした。差引額は前年度比44・8%増の10億6,500万円です。

10億6,500万円、令和3年度へ繰り越しとなります。

歳入のうち、市税など市の自主的な収入である自主財源は180億4,133万円(34・5%)、国や県から交付される地方交付税や国庫・県支出金、

歳出 511億6,921万円



市の借金である市債などの依存財源は341億9,288万円(65・5%)でした。

なお、財政調整基金の取り崩しは行いませんでした。

歳出は、総務費が136億6,316万円(26・7%)、民生費が126億6,033万円(24・7%)、公債費が59億854万円(11・6%)、教育費が52億3,336万円(10・2%)などの順となりました。

●特別会計

令和2年度の特別会計(7会計)の決算額は、歳入が177億488万円(対前年度比14・7%の減、歳出が175億1,758万円(対前年度比14・5%の減となりました。差引額の1億8,730万円は令和3年度へ繰り越します)となります。

●水道事業会計

令和2年度の収益的収支における収入は19億4,542万円(消費税込み)、支出は19億9,402万円(消費税込み)で、差し引き▲4,860万円となりました。なお、消費税を抜いた純損失は1億1,268万円となり、利益積立金で補てんします。

資本的収支における収入は4億4,255万円、支出は13億6,890万円(消費税込み)でした。差し引き9億2,635万円の不足は、過年度分損益勘定留保資金(※1)などで補てんしました。

水道事業会計決算額

	収入		支出		差引額
収益的収支(※2)	水道料金	16億2,545万円	借入金の利息返済	1億2,659万円	
	その他	3億1,997万円	減価償却費	9億8,198万円	
			その他	8億8,545万円	
	合計	19億4,542万円	合計	19億9,402万円	▲4,860万円(※4)
資本的収支(※3)	国などからの補助金	9,987万円	施設などの整備費用	6億9,320万円	
	国などからの借入金	3億3,850万円	借入金の元金返済	6億7,570万円	
	その他	418万円			
	合計	4億4,255万円	合計	13億6,890万円	▲9億2,635万円(※4)

※1 損益勘定留保資金…減価償却費など現金支出を伴わない費用

※2 収益的収支…事業運営を目的とした収入・支出のこと

※3 資本的収支…施設整備を目的とした収入・支出のこと ※4 ▲はマイナス、全て消費税込みの金額

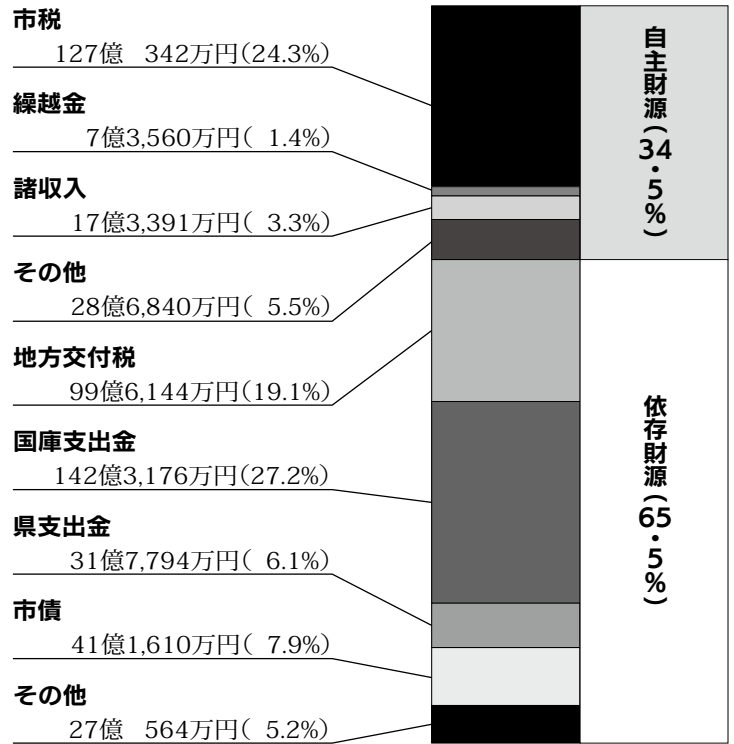
1人当りに使われたお金の内訳

使われたお金を市民1人当りに分けてみると64万1,058円で、内訳は下のとおりです。
※令和3年3月31日現在の住民基本台帳人口7万9,820人で計算しています

総務費 171,175円	企画や税金などの事務に関する経費。および、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策に関する経費
民生費 158,611円	子どもや高齢者、障がいのある方などを援助するための経費
衛生費 42,328円	市民の皆さんの健康を守ったり、ごみを処理したりするための経費
商工費 40,724円	商工業の支援や育成、観光施設の整備を行うための経費
土木費 44,780円	道路や市街地、市営住宅などの整備や管理をするための経費
消防費 22,488円	消防活動や防火水槽の設置などを行うための経費
教育費 65,565円	学校運営や社会教育、文化・スポーツを充実させるための経費
公債費 74,023円	借り入れをした市債の元金や利子の返済金
その他 21,364円	議会費、労働費、農林水産業費など

一般会計決算額

歳入 522億3,421万円



特別会計決算額

事業	歳入	歳出	差引額
国民健康保険事業	89億4,532万円	88億1,630万円	1億2,902万円
後期高齢者医療事業	11億5,041万円	11億4,732万円	309万円
介護保険事業	73億3,081万円	72億9,804万円	3,277万円
診療所事業	1億4,018万円	1億3,523万円	495万円
温泉事業	6,541万円	6,009万円	532万円
銅山観光事業	7,275万円	6,060万円	1,215万円
公共用地先行取得事業	0円	0円	0円
合計	177億 488万円	175億1,758万円	1億8,730万円

●下水道事業会計
令和2年度の収益的収支における収入は27億186万円(消費税込み)、支出は24億3,719万円(消費税込み)で、差し引き2億6,467万円(消費税を抜いた純利益は2億5,189万円)となりました。
資本的収支における収入は8億9,320万円、支出は16億3,814万円(消費税込み)でした。差し引き7億4,494万円の不足は、当年度分損益勘定留保資金(※1)などで補てんしました。

下水道事業会計決算額

	収入		支出		差引額
収益的収支(※2)	下水道料金	10億9,763万円	借入金の利息返済	1億8,803万円	
	その他	16億 423万円	減価償却費	12億1,059万円	
			その他	10億3,857万円	
	合計	27億 186万円	合計	24億3,719万円	
資本的収支(※3)	国などからの補助金	9,374万円	施設などの整備費用	3億6,000万円	
	国などからの借入金	5億2,190万円	借入金の元金返済	12億7,814万円	
	その他	2億7,756万円			
	合計	8億9,320万円	合計	16億3,814万円	

くわしくは

一般会計と特別会計について…財政課 ☎0288-21-5162

水道事業会計について…水道課☎0288-21-4532 下水道事業会計について…下水道課 ☎0288-21-5150